

令和5年度「奇跡の復興米」 取組紹介

ひがしにはんだいしんさい ひさいち おおつち とんだばやし つな
東日本大震災の被災地・大槌町と富田林市を繋ぐ

きせき

ふっこうまい

奇跡の復興米

その苗は、東日本大震災で被災した岩手県
大槌町でガレキの中から見つかった3株の
イネを源流にもちます。津波
を奇跡的に生き残り、海水を
被った土地でも成長したその
生命力を、被災の記憶と共に
後世に伝え、防災の重要性を
考えていく取組です。



富田林市・富田林市立小学校
JA大阪南・JA大阪南青年部
がこの取り組みに参加しています

富田林市「奇跡の復興米」を
紹介するウェブページのURL

「奇跡の復興米」バケツ稻栽培セット
バケツに貼り付けたシールのイメージです

2023年5月 菊池妙様よりお手紙
(「奇跡の復興米」田植えによせて)

「奇跡の復興米」田植えによせて、

今年も又、田植えの季節となりました。

数えて10年目の田植えがめどりになります。

10年、ひと昔と言いますか、私がこの津源の復興、移動の玄関地からやせた子供の頃を見つめに場所は今は高い防潮堤が作られ、小さいながらまだ新しい工場等が立並んでおります。

そして、昨年秋には私の所 大船平野町長から富山市農業会議員第2022に参列。参加いたしました事も、改めて相互の深い絆を感じます。

さて、今日の田植えはスクロット付であります。
はすしていきます。

そして、今日の田植えを体験した皆さんに尋せたところです。

田んぼのぬかるみと身体で磨いて耕す苗を植え、水やり、草の他波止の手まひヨモガリ松には実りの収穫をむかえます。

日本のお食文化の本は、この様にして作られるんだと体験し、そして「奇跡の復興米」の出来正しく学んでいただけたら幸いです。

終りに、秋の豊作を願い、田舎名前にお札をかぶせますといいます。

令和五年春

菊池妙

大船復興米

菊池

妙

喜志っこクラブの田植え風景



喜志小学校の田植え風景



新聞各誌に記載されました

朝日新聞 6/11号

四百 東部・河内 14 版

2023年(令和5年)6月11日(日)

10

秦

「奇跡の復興米」10年目の紹介

富田林で今年も田植え



田んぼに入つて復興米の田植えをする児童＝富田林市龍泉

に市と町は連携協定を結ぶなど交流を続けている。

— 1 —

現在、市内の全16小学校の5年生が田んぼやバケツでの栽培に取り組んでいる。6日には市立東条小の5年生15人が学校近くの田んぼで田植えをした。勢姫向日葵さんは「復興米の田植えをして、いいなと思った。今は機械ですけど、手植えをしていた昔は大変と感じた」と話した。

J.A大阪南農業指導課の森口修次課長代理は「次世代を背負う子どもたちに震災のこと、農業のことなどを伝え、大槌どの辺が子どもたちの代までつながってほしい。これからも続いていければ」と話している。

われた。

市内で収穫された米は

東日本大震災の被災地、岩手県大槌町の住宅跡で穂を付けた稻をルーツとする「奇跡の復興米」。同町と交流がある富田林市で栽培が始まって今年で10年目を迎えた。震災の記憶と農業の大切さを次世代の子どもたちに伝えたいと、栽培は地元の小学生が参加。毎年5月末から田植えが行

富田林市や同市のボランティア団体は震災後、大きな被害を受けた大槌町で、被災支援に取り組んできた。2014年には「奇跡の米」の種もみ1kgを譲り受け、JA大阪南や関係者らで栽培委員会をつくるなどして栽培を始めた。こうした縁をきっかけに、20

市内で収穫された米は、
植町に里帰りで贈られるほか、地元の子ども食堂などに提供されている。熊本震で被災した熊本県益城町に届けたことも。稲わらを付しておき、敷きわらなに使われているといふ。

前言

毎日新聞 6/2号

今年もおいしい復興米を 富田林



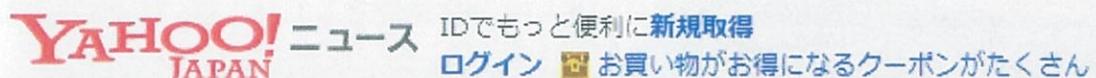
かった。おいしいお米を届けたい」と話した。震災の約7カ月後、大槌町の民家の跡で穗をつけた稻が見つかって、岩手県のN.P.O法人「遠野まごころネット」が種もみを増やして2014年、震災支援のお礼に高田林市の市民団体に寄贈。地元農協が中心になって栽培を始め、収穫の一部を大槌町に贈つてい

天理(奈良)	3日1030
あべの翔学(大阪)	10日1030
耐久(和歌山)	3日1300
龍谷大平安(京都)	11日1030
報徳学園(兵庫)	4日1030
桐蔭(和歌山)	10日1300
比叡山(滋賀)	4日1300
河内(大阪)	

インターネットニュースサイトにも掲載されました

期間限定のオリジナル画像をゲットしよう！ 今月はちゃお！

Yahoo! JAP



キーワードを入力



トップ

速報

ライブ

エキスパート

オリジナル

みんなの意見

ランキング

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地域

「奇跡の復興米」田植え、大阪 小学生ら、復興への思い込め

5/29(月) 15:42 配信



東日本大震災で津波被害に遭った岩手県大槌町をルーツとする「奇跡の復興米」の苗が29日、大阪府富田林市の田んぼに植えられた。小雨が降る中、地元小学生ら約90人が復興への思いを込めた。今年で10回目。

子どもたちは靴を脱いで田んぼに入り、高さ10センチほどの苗を数本ずつ植えていった。市立喜志小5年の児童は「楽しかった。おいしいお米を届けたい」と話した。

「奇跡の復興米」の苗を植える小学生＝29日午前、大阪府富田林市

震災の約7カ月後、大槌町の民家の跡で穂をつけた稻が見つかった。岩手県のNPO法人が種もみを増やして2014年、震災支援のお礼に富田林市の市民団体に寄贈。地元農協が中心になって栽培を始め、収穫の一部を大槌町に贈っている。



支店事業協力委員会 全体会議

5月30日、すばるホールで「JA大阪南支店事業協力委員会全体会議」を開催し、支店事業協力委員、非常勤理事・監事、参与、役職員合わせて254名が出席しました。

第一部では、椿本吉成総務担当常務が、令和4年度事業報告と令和5年度各事業の取り組みについて説明しました。第二部では、支店協働活動の先進JAであるJA福岡市の宗欣季専務を招き、「JA福岡市の経営戦略～支店行動計画～」と題して講演しました。宗専務は、身近な支店を核とした地域との繋がり作りについて取り組み事例を紹介し、アクティブメンバーシップの強化や組織の活性化の必要性について述べました。



あすかてくれるで 出荷協力会総会及び 出荷者大会

5月25日、ラブリーホールで「令和5年度あすかてくれるで出荷協力会総会及び出荷者大会」を開催しました。会員1388人のうち、403名が要任状を提出、484名が出席しました。

出荷協力会の杉原由眞会長は出荷者に日頃の感謝を述べた後、事業報告などを行いました。令和5年度の取り組みとして、InstagramなどのSNSを活用した情報発信による集客力強化や農薬の適正使用、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の徹底などを確認しました。

NEWS & TOPICS

ニュース&トピックス



今年で10年目 奇跡の復興米

5月28日、当JAと富田林市「岩手県大槌町奇跡の復興米」栽培委員会は、復興米の田植えを行い、地元小学生が参加しました。この田植えは、今年で10年目となり、地元団体や地域住民の協力で栽培を行い、「震災を風化させず、次世代にも伝えたい」という想いと食農や防災へ意識を高めるため取り組んでいます。田んぼに植えるほか、同市内の16の小学校でバケツ稲栽培も実施しています。



職員大会

5月16日、すばるホールで令和5年度の職員大会を行い、役職員が参加しました。

令和4年度事業推進実績で優秀な成績を収めた店舗・職員を表彰したほか、永年勤続表彰、資格取得者職員表彰、新入職員紹介、令和5年度事業の取り組みについて説明しました。そして、事業目標の達成を宣言した後、「頑張ろう」の三唱を行い、役職員の士気を高めました。

2023年9月 菊池妙様よりお手紙
(「奇跡の復興米稻刈りによせて」)

「奇跡の復興米稻刈り」紙刈りに寄せて

数えて10年目となり「奇跡の復興米稻刈り」紙刈り
がめでたしかなに過ぎず。

新穀の刈りや刈り入れも少し終りました。様々なイベント
等が開催されましたが、今朝の真夏は北から南と西側は
今までにない記録的な豪雨や大雨が続き自然界の
変貌に移りは身を守る。ただ、その事が必ず晴れ
祈るだけです。

天氣予報としては、朝ごろの晴天方に随伴して
季りました。

又、春の回植にもお詫びしましたが、日本文化の
米作りを自信ながら紙刈りに体験、「お米の出来る迄
を学んだ貴様には今朝から明日からの白いお米の味も
変わらかじれません。

そして、おまわり作られた「奇跡の復興米」は私の
大穀米園の食文化に進んでいたに随伴する。
この場をおかりしお礼申し上げます。

終りに御縁各位に感謝申し上げ、「復興」とござります。

令和五年九月吉日

菊池妙
おまき

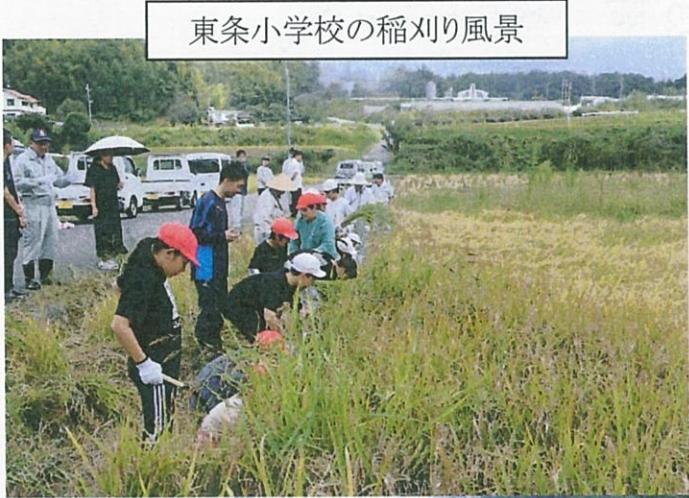
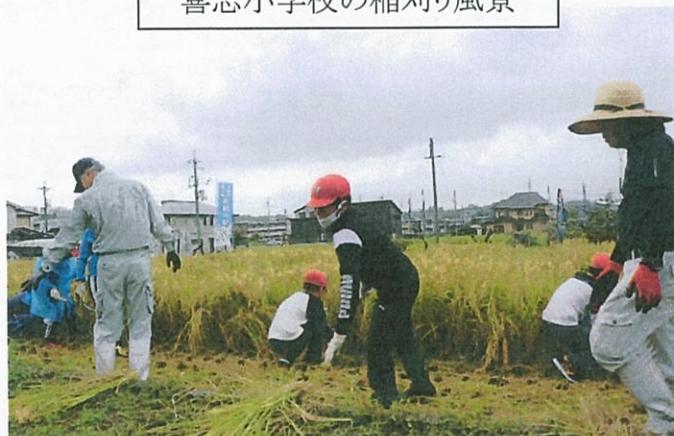
「大穀復興米」

菊池妙

喜志っこクラブ・ほっとスペースの稻刈り風景



喜志小学校の稻刈り風景



襲われた岩手県大槌町の住宅跡で見つかった稲穂をルーツとする「奇跡の復興米」が、大阪府富田林市で見つかる。東日本大震災で津波に巻き込まれた岩手県大槌町の田んぼで黄色い穂をつけ、刈り取り作業が始まっている。

津波乗り越えた稲穂ルーツ

「奇跡の復興米」稻刈り

大阪・富田林、小学生ら



「奇跡の復興米」を刈り取る児童ら（11日、大阪府富田林市）

た立をばそに

「奇跡の復興米」今年も

富田林で児童ら稻刈り

9/18
M



東日本大震災で津波に巻き込まれた岩手県大槌町の住宅跡で見つかった稲穂をルーツとする「奇跡の復興米」が、富田林市の田んぼで黄色い穂をつけ、市内の小学生が11日、農協によってお礼に岩手県のNPO法人から寄贈された種も

大槌町の復興を支援したお礼に岩手県のNPO法人から寄贈された種もみを「震災を風化させずに次世代につなげよう」と毎年栽培している。

熱中症
4
危険
4
危険

各項目は4段階で表示。

喜志小5年の岡野碧さん（11）は「初めて稻刈りしたけど慣れると楽しかった。大槌町のみんなに喜んでもらえるどう嬉しい」と笑顔だった。

手つきでつかみ、鎌で刈り取った。今年は約2メートルの収穫を見込んでおり、一部は大槌町に贈り学校給食で味わってもらう。稻わらは大阪市の天王寺動物園で動物たちの寝床などに活用される予定だ。

JA大阪南広報誌 7,8月号

JA広報誌にも
掲載しました。

NEWS & TOPICS

ニュース&トピックス



今年で10年目 奇跡の復興米

01

5月28日、当JAと富田林市「岩手県大槌町奇跡の復興米」栽培委員会は、復興米の田植えを行い、地元小学生が参加しました。この田植えは、今年で10年目となり、地元団体や地域住民の協力で栽培を行い、「震災を風化させず、次世代にも伝えたい」という思いと食農や防災へ意識を高めるため取り組んでいます。田んぼに植えるほか、同市内の16の小学校でバケツ栽培も実施しています。

NEWS & TOPICS

ニュース&トピックス



大槌町立山田小学校



富田林市立東条小学校



大槌町立第七小学校



富田林市立鶴原小学校



大坂狭山市立第一小学校



大槌町立女川小学校



大坂狭山市立北小学校

各地で教育田 小学生に食農教育

01

6月、管内各地の教育田などで田植え体験や見学を行いました。初めて苗を植える小学生も多く、地元協力農家や職員らに指導を受けながら喜びに苗を植えました。児童は「泥だらけになって田植えするのは初めての体験で楽しかった」などの感想がありました。今後も子供たちへの食農教育を進めています。



大坂狭山市立北小学校

JA大阪南広報誌
9,10月号

教育田で 稲刈り体験

01

9~10月、「奇跡の復興米」の圃場や管内の教育田で児童らが稲刈り体験を行いました。



NEWS & TOPICS

ニュース&トピックス

稻わら天王寺動物園へ贈呈

11月15日、富田林市「岩手県大槌町奇跡の復興米」栽培委員会が栽培指導し、管内の小学生が育て収穫した後の稻わらを天王寺動物園へ贈呈しました。奇跡の復興米は、東日本大震災で被災した、がれきの中から見つかった3株の稲穂を復興のシンボルとして育てられたもの。同JAでは、内本直哉代表理事組合長を委員長とする栽培委員会が毎年栽培を行っています。贈られた稻わらは、主に出産や敷き床などに使用する予定です。



天王寺動物園に寄贈しました。
動物たちの寝床に使用されるそうです



青壯年部が児童養護施設へ農産物を提供

JA大阪南青壯年部は2月6日、児童養護施設高鷺学園へ、地場産の農産物などを提供しました。青壯年部では、これまで部員が育てた農産物を使った料理や、紙芝居などで児童との交流を深め、食育活動を行ってきました。今回提供した食材は、トマト・ナス・白菜・シイタケ等の農産物9種類、子供向け雑誌「ちゃぐりん」とJA大阪南より奇跡の復興米30kgを手渡しました。同JA青壯年部 浅岡弘二部長は「今後も支援活動を継続し、子供たちに美味しい農産物を提供していく」と話しました。



令和6年2月9日

富田林市「岩手県大槌町奇跡の復興米」
栽培委員会 委員長様

大槌町教育委員会学務課・大槌町学校給食センター
課長兼所長 吉田 智

拝啓 立春の候 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

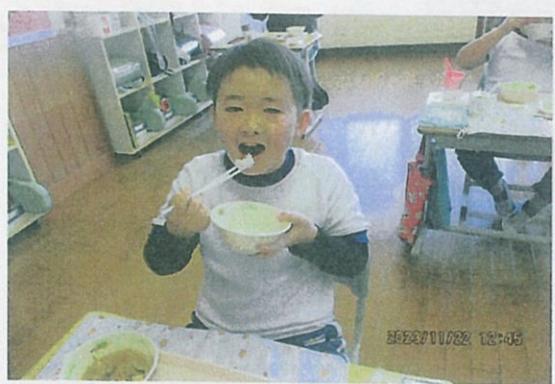
貴委員会におかれましては、当町へ格別に思いをお寄せいただき、毎年心温まる復興米を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、「岩手県大槌町奇跡の復興米」は、学校給食において町内の全校児童生徒と教職員合わせて800名以上に提供させていただいたほか、町内の教育・保育施設や子ども食堂へ配布させていただきました。

皆様のご厚意によりまして地域を越える深い「絆」を実感することができました。

この度のご厚情に対しまして、略儀ながら書中をもって御礼申し上げますとともに、委員長様はじめ皆様のますますのご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

○大阪府富田林市「奇跡の復興米」使用給食 吉里吉里学園小学部 (R5.11.22)



○大阪府富田林市「奇跡の復興米」使用給食 吉里吉里学園中学部 (R5.11.22)



富田林のみなさん Thank you
大切に育ててくれてありがとうございます!

これ米? ちょっとかたい

あったかいね~、こんなに小さいんだ

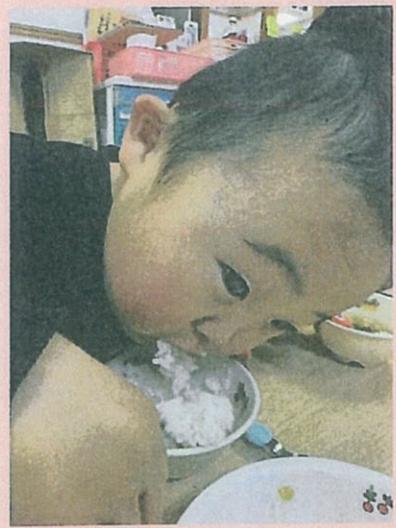
今日のメニューは、『きのこたっぷり麻婆豆腐』
『富田林っていうところから届いたお米なんだ~
おいしいねえ~』と子どもたち
『次はおにぎりがいいね!』等の会話が聞こえてきました。

2023.12 つつみこども園

ごちそうさまでした♡



幼保連携型認定こども園 おおつかこども園



「うまいうまい☆」

おいしかった 復興米



「ぜーんぶ食べた!!」



「大きなお口であ~ん♡」



「おいしいお米をありがとうございます」



「ほっかほか~~☆☆☆」

「大槌産」の「復興米」
今年もいただきました!!

2023年は、2歳児クラス「チームおおぐま」のこどもたちに感想を聞いてみました。

☆あまくて美味しい~~!!
☆ほっかほか
☆うまいうまい!!
☆ぜーんぶ食べた!!

2歳児なりの想いと、
2歳児なりの表情で応えてくれました。

毎年大切に育ててくれている「復興米」は、
あまくて、モチモチしてて、純白に輝き、お
口に入れるとホカホカだったかーくなり
ました。ありがとうございました★



「おいしい~~♡」

